

「国際交流推進委員会」

1. 構成員

1) 委員

鈴木志津枝（委員長、神戸市看護大学）

グレッグ美鈴（神戸市看護大学）

牧本清子（大阪大学大学院）

丸光恵（甲南女子大学）

2) 協力者

高山良子（神戸市看護大学）

2. 趣旨

本委員会の趣旨は、関連する国際的組織と連携をとりながら、国内の看護高等教育の推進及び、日本国内の看護系大学のグローバル化を支援することである。

3. 活動経過

1) The East Asia Forum of Nursing Scholars（EAFONS）に関する活動

(1) Executive Committee Meeting Member の登録

2014年6月16日(月)の社員総会で2014年度の理事・監事が承認され、国際交流推進委員会のメンバーも変更になった。2014年度と2015年度のEAFONSのExecutive Committee Meeting Memberとして、高田早苗 JANPU 代表理事と鈴木志津枝国際交流推進委員会委員長の2名を登録した。

2) 第18回 EAFONS との連携活動

(1) 第18回 EAFONS における Executive Committee Meeting への参加

第18回 EAFONS が2015年2月5日(水)・6日(木)両日に台湾の台北市で開催された。初日に Executive Committee Meeting が開催され、日本から第19回 EAFONS 開催大学代表の宮崎美砂子氏と国際交流推進委員の牧本清子氏が出席した。主な審議・報告内容として、①中国からの EAFONS への参加希望があったため、今後 EAFONS の参加基準を作成することの検討、②共同研究推進のための Database に関する検討、③参加者への Award に関する評価方法等の検討、④会の運営と抄録の査読と座長に関する検討、⑤台湾のメンバーから、ゲストスピーカーをアジア系の研究者にしてはどうかの意見があったが、Plenary session で各国からの Executive Committee Member に話してもらうことでバランスをとったことの報告があった。

第20回(2017年)の EAFONS は20周年記念の年であり、第1回 EAFONS を開催した香港で開催されることになった。

(2) Plenary session でのスピーカーの選出

第18回 EAFONS の事務局からの依頼を受けて、Plenary session における日本からのスピーカーとして、牧本清子氏（大阪大学大学院）を選出した。Plenary session では、Keynote スピーカーで

ある Professor Jean Watson による「Unitary Caring Science as Disciplinary Foundation for Doctoral Studies- A Scientific-Humanitarian Paradigm」の講演を受けて、各国のスピーカーにより「Integrated Caring Concepts in Nursing Doctoral Program」に関する発表が行われた。

(3) 第 18 回 EAFONS 国内参加者への情報提供と参加状況、発表に関する課題

第 18 回 EAFONS に関する広報活動として、日本看護系大学協議会 (JANPU) のホームページにリンクを貼るとともに、会員校のメーリングリストを用いて開催案内および演題募集の呼びかけを行った。第 18 回 EAFONS には約 600 名の参加者があり、約 300 名が日本からの参加者であった。発表演題全体の中で、日本人研究者の発表数は、Oral session 58 件中 17 件 (29.3%)、Poster session 393 件中 207 件 (52.7%) であり、第 17 回 EAFONS での発表数の Oral session 76 件中 13 件 (17.1%)、Poster session 304 件中 155 件 (50.9%) と比較して増加していた。

日本人研究者によるポスター発表数は全体の半数以上であるが、口演発表が 3 割弱であり、口演発表やディスカッションが課題であるという状況は継続している。日本人研究者による研究成果を国外に発信していけるように、今後も支援方法を検討していく必要がある。

(4) Gala Dinner において日本文化の紹介

第 18 回 EAFONS 開催事務局から Gala Dinner において日本文化に関連した Performance 実施依頼があり、河井伸子氏 (神戸市看護大学) が折鶴の紹介と Gala Dinner 参加者と共に折鶴作成を行い、参加者から好評を得た。

3) 第 19 回 EAFONS の日本開催に向けての準備

(1) 第 19 回 EAFONS 開催大学の決定

第 19 回 EAFONS を日本で開催するにあたり、開催大学を JANPU 会員校のメーリングリストを用いて募集した結果、千葉大学からの応募があり、開催大学は千葉大学に決定した。

(2) 第 19 回 EAFONS 開催における JANPU 及び国際交流推進委員会の位置づけ

第 19 回 EAFONS の主催機関として JANPU が位置づけられ、世話人として高田早苗 JANPU 代表理事と鈴木志津枝国際交流推進委員会委員長が就任し、開催大学代表として千葉大学の宮崎美砂子氏が就任した。また、国際交流推進委員会は第 19 回 EAFONS を千葉大学が開催するにあたり、①国内外への広報活動、②JANPU と開催大学の連携促進、③EAFONS 役員会 (各国の Executive Committee Meeting Members) との連絡調整、④査読の協力、⑤情報提供の役割を担うことになった。

(3) 第 19 回 EAFONS 開催委員会と国際交流推進委員会との合同会議

千葉大学に設置された第 19 回 EAFONS 開催委員会と国際交流推進委員会との合同委員会を 2 回開催し、国際交流推進委員会の支援内容の調整を行った。今年度の主な役割として、①JANPU との連携調整、②JANPU 会員校のメーリングリストを活用して、高田早苗 JANPU 代表理事および宮崎美砂子開催大学代表の連名で査読者と座長を募集すること、③広報用のパンフレットの作成支援、④第 18 回 EAFONS 会場で第 19 回 EAFONS の広報活動 (パンフレットの配布、開会式での宮崎美砂子開催大学代表のプレゼンテーション) が行えるように、第 18 回 EAFONS 事務局と調整を行った。



4. 今後の課題

今年度の国際交流推進委員会は、第18回EAFONSの開催大学である台湾大学やEAFONSのシンガポール事務局、第19回EAFONS開催大学と連携を取りながら活動を行ってきた。しかし、前国際交流推進委員会から引き継いだ国内の看護高等教育の推進及び日本国内の看護系大学のグローバル化を支援する方策を検討するという課題に関しては、十分に検討できていない。

5. 資料

- 1) 第19回EAFONS広報用ポスター
- 2) 第18回EAFONS閉講式における第19回EAFONS開催に関するプレゼンテーション
(宮崎美砂子第19回EAFONS開催大学代表による)

19th EAFONS

East Asian Forum Of Nursing Scholars

in Chiba, Japan

March 14-15(Mon.-Tue.), 2016



Main Theme:

Leadership Challenges for Advancing Doctoral Education in Nursing

Venue:

Makuhari Messe International Conference Hall (Chiba, Japan)
2-1, Nakase, Mihama-ku Chiba-shi, Chiba, 261-0023, Japan

Sponsorship:

JANPU Japan Association of Nursing Programs in Universities

Conference Organizer:

Chiba University Graduate School of Nursing

Official Language:

English is the official language for 19th East Asian Forum of Nursing Scholars.

Certificate of Attendance:

A certificate of attendance will be issued to all participants.

Key Contact:

For more detailed information,
please contact the Conference Secretariat.
EAFONS 2016 Conference Secretariat
c/o ICS Convention Design Inc.
TEL:+81-3-3219-3541 FAX:+81-3-3219-3577
E-mail: 19th-eafons2016@ics-inc.co.jp
<http://www.19th-eafons2016.jp>

